

東京理科大学新聞

【発行所】

東京理科大学新聞会
〒162-8601
東京都新宿区神楽坂
1丁目3番地2号館2515 部屋
E-mail tuspress@gmail.com
Website http://tuspress.jp
Twitter @tuspress

11月21日(火)

-天気予報-
神楽坂 晴れ (12℃/6℃)
葛飾 晴れ (12℃/6℃)
野田 晴れ (11℃/3℃)

号外

東京理科大学新聞の配布場所は
神楽坂・1号館・5号館・
8号館食堂・富士見校舎
葛飾・講義棟・研究棟・
食堂・生協

ミス理科大 グランプリに鈴木りかさん 準グランプリに牧村里奈さん



▲ミス理科大グランプリ受賞直後の鈴木りかさん



▲自己PRで演じたブルゾンちえみのパロディ

Q. 今回のミス理科大コンテストのグランプリ受賞おめでとうございます。本当にありがとうございます。
A. 受賞して、改めてどんな気持ちですか
—— ずっと取りたいと思ってやってきましたが、全然実感がなくて、今はやっと終わったという安堵感があります。
Q. コンテスト中、不安そうなお表情が伝わってきましたが、そういった気持ちが
A. 不安な気持ちと裏腹に、本紙調査の優勝予想では1位でした。
—— 本当ですか(笑) 嬉し
Q. ブルゾンちえみのパロ

Q. 今回、ミス理科大コンテストのグランプリ受賞おめでとうございます。本当にありがとうございます。
A. 受賞して、改めてどんな気持ちですか
—— ずっと取りたいと思ってやってきましたが、全然実感がなくて、今はやっと終わったという安堵感があります。
Q. コンテスト中、不安そうなお表情が伝わってきましたが、そういった気持ちが
A. 不安な気持ちと裏腹に、本紙調査の優勝予想では1位でした。
—— 本当ですか(笑) 嬉し
Q. ブルゾンちえみのパロ

Q. 今回のミス理科大コンテストのグランプリ受賞おめでとうございます。本当にありがとうございます。
A. 受賞して、改めてどんな気持ちですか
—— ずっと取りたいと思ってやってきましたが、全然実感がなくて、今はやっと終わったという安堵感があります。
Q. コンテスト中、不安そうなお表情が伝わってきましたが、そういった気持ちが
A. 不安な気持ちと裏腹に、本紙調査の優勝予想では1位でした。
—— 本当ですか(笑) 嬉し
Q. ブルゾンちえみのパロ

Q. 今回のミス理科大コンテストのグランプリ受賞おめでとうございます。本当にありがとうございます。
A. 受賞して、改めてどんな気持ちですか
—— ずっと取りたいと思ってやってきましたが、全然実感がなくて、今はやっと終わったという安堵感があります。
Q. コンテスト中、不安そうなお表情が伝わってきましたが、そういった気持ちが
A. 不安な気持ちと裏腹に、本紙調査の優勝予想では1位でした。
—— 本当ですか(笑) 嬉し
Q. ブルゾンちえみのパロ

Q. 今回のミス理科大コンテストのグランプリ受賞おめでとうございます。本当にありがとうございます。
A. 受賞して、改めてどんな気持ちですか
—— ずっと取りたいと思ってやってきましたが、全然実感がなくて、今はやっと終わったという安堵感があります。
Q. コンテスト中、不安そうなお表情が伝わってきましたが、そういった気持ちが
A. 不安な気持ちと裏腹に、本紙調査の優勝予想では1位でした。
—— 本当ですか(笑) 嬉し
Q. ブルゾンちえみのパロ

Q. 今回のミス理科大コンテストのグランプリ受賞おめでとうございます。本当にありがとうございます。
A. 受賞して、改めてどんな気持ちですか
—— ずっと取りたいと思ってやってきましたが、全然実感がなくて、今はやっと終わったという安堵感があります。
Q. コンテスト中、不安そうなお表情が伝わってきましたが、そういった気持ちが
A. 不安な気持ちと裏腹に、本紙調査の優勝予想では1位でした。
—— 本当ですか(笑) 嬉し
Q. ブルゾンちえみのパロ

Q. 今回のミス理科大コンテストのグランプリ受賞おめでとうございます。本当にありがとうございます。
A. 受賞して、改めてどんな気持ちですか
—— ずっと取りたいと思ってやってきましたが、全然実感がなくて、今はやっと終わったという安堵感があります。
Q. コンテスト中、不安そうなお表情が伝わってきましたが、そういった気持ちが
A. 不安な気持ちと裏腹に、本紙調査の優勝予想では1位でした。
—— 本当ですか(笑) 嬉し
Q. ブルゾンちえみのパロ

Q. 今回のミス理科大コンテストのグランプリ受賞おめでとうございます。本当にありがとうございます。
A. 受賞して、改めてどんな気持ちですか
—— ずっと取りたいと思ってやってきましたが、全然実感がなくて、今はやっと終わったという安堵感があります。
Q. コンテスト中、不安そうなお表情が伝わってきましたが、そういった気持ちが
A. 不安な気持ちと裏腹に、本紙調査の優勝予想では1位でした。
—— 本当ですか(笑) 嬉し
Q. ブルゾンちえみのパロ

19日、第69回神楽坂地区理大祭にて、毎年恒例の注目イベントであるミス理科大コンテストが行われた。6人の候補者がさまざまな企画を通して、それぞれの魅力を伝えた。コンテストの結果、グランプリにN.O.5の鈴木りかさん、準グランプリにN.O.4の牧村里奈さんが選ばれた。今回、受賞直後の2人に当会記者が独占インタビューを行った。

Q. 今回のミス理科大コンテストのグランプリ受賞おめでとうございます。本当にありがとうございます。
A. 受賞して、改めてどんな気持ちですか
—— ずっと取りたいと思ってやってきましたが、全然実感がなくて、今はやっと終わったという安堵感があります。
Q. コンテスト中、不安そうなお表情が伝わってきましたが、そういった気持ちが
A. 不安な気持ちと裏腹に、本紙調査の優勝予想では1位でした。
—— 本当ですか(笑) 嬉し
Q. ブルゾンちえみのパロ

Q. 今回のミス理科大コンテストのグランプリ受賞おめでとうございます。本当にありがとうございます。
A. 受賞して、改めてどんな気持ちですか
—— ずっと取りたいと思ってやってきましたが、全然実感がなくて、今はやっと終わったという安堵感があります。
Q. コンテスト中、不安そうなお表情が伝わってきましたが、そういった気持ちが
A. 不安な気持ちと裏腹に、本紙調査の優勝予想では1位でした。
—— 本当ですか(笑) 嬉し
Q. ブルゾンちえみのパロ

Q. 今回のミス理科大コンテストのグランプリ受賞おめでとうございます。本当にありがとうございます。
A. 受賞して、改めてどんな気持ちですか
—— ずっと取りたいと思ってやってきましたが、全然実感がなくて、今はやっと終わったという安堵感があります。
Q. コンテスト中、不安そうなお表情が伝わってきましたが、そういった気持ちが
A. 不安な気持ちと裏腹に、本紙調査の優勝予想では1位でした。
—— 本当ですか(笑) 嬉し
Q. ブルゾンちえみのパロ

Q. 今回のミス理科大コンテストのグランプリ受賞おめでとうございます。本当にありがとうございます。
A. 受賞して、改めてどんな気持ちですか
—— ずっと取りたいと思ってやってきましたが、全然実感がなくて、今はやっと終わったという安堵感があります。
Q. コンテスト中、不安そうなお表情が伝わってきましたが、そういった気持ちが
A. 不安な気持ちと裏腹に、本紙調査の優勝予想では1位でした。
—— 本当ですか(笑) 嬉し
Q. ブルゾンちえみのパロ

Q. 今回のミス理科大コンテストのグランプリ受賞おめでとうございます。本当にありがとうございます。
A. 受賞して、改めてどんな気持ちですか
—— ずっと取りたいと思ってやってきましたが、全然実感がなくて、今はやっと終わったという安堵感があります。
Q. コンテスト中、不安そうなお表情が伝わってきましたが、そういった気持ちが
A. 不安な気持ちと裏腹に、本紙調査の優勝予想では1位でした。
—— 本当ですか(笑) 嬉し
Q. ブルゾンちえみのパロ

Q. 今回のミス理科大コンテストのグランプリ受賞おめでとうございます。本当にありがとうございます。
A. 受賞して、改めてどんな気持ちですか
—— ずっと取りたいと思ってやってきましたが、全然実感がなくて、今はやっと終わったという安堵感があります。
Q. コンテスト中、不安そうなお表情が伝わってきましたが、そういった気持ちが
A. 不安な気持ちと裏腹に、本紙調査の優勝予想では1位でした。
—— 本当ですか(笑) 嬉し
Q. ブルゾンちえみのパロ

新聞会に情報を!

当会では、学生のみなさんから、ニュースになりそうな情報や写真を待っています
みなさんの情報は、新聞会 Email にて募集中です
できるだけ詳細な情報、説明を明記してください

東京理科大学新聞会
Twitter @tuspress HP http://tuspress.jp

新入部員募集中

書くことが好きな人
写真を撮ることが好きな人
デザイン作業をやってみたい人
一緒に新聞を作りませんか?

当会は神楽坂・葛飾キャンパスで活動中。
学生向けに学内情報を広く発信しています。
Email tuspress@gmail.com

国立民俗歴史博物館にて12月10日まで「1968年展―無数の問の噴出の時代―」が開催されている。これは1960年代後半に日本で起こった、ベトナム反戦運動や三里塚闘争・水俣病闘争などの市民運動、全国的な大学闘争などの多様な社会運動に焦点を当てた企画展示である。▼平和や民主主義、大学のあり方、住民の声を無視して行われた高度成長や開発計画など、この時代に噴出した「問題意識」は50年近く経った現在でも人々の意識に残り、定着している。人々の意識を変えたという点で1968年という時代は革命的な年だったと言える▼新聞会は1950年に創刊して以来、学生目線で理科大を報じてきた。当会のバックナンバーを見てひととき目立つのが、60年代、70年代の学生運動である。学費の値上げや不十分な実験施設、教室の不足で立ち見授業が慢性化するという劣悪な学習環境など、学生の中で噴出する不満を、学生が大学に改善を要求している姿が紙面から伝わってくる。当時の大学生の様子からは今の若者には見られない、積極性や大学内外への関心の高さが見られる▼一方で現代の若者は大学内外への無関心が目立つ。とりわけ、政治への無関心は顕著だ。10月に行われた衆院選では、18、19歳の投票率が全体の平均を下回った。社会運動や選挙によって日本はよりよい方向へと変化してきた。日本の未来を担う私たちが、さまざまなことに関心を向ける必要がある。(H.D.)